古今和歌集

年　組　番

得点　／30

問一　次の傍線部の漢字の読みを現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

①　花橘　（　　）　②　五節　（　　）

問二　次の語句の意味を書きなさい。

①　袖ひちて　（　　）　②　むすびし水　（　　）

③　おどろかれぬる　（　　）　④　見えつらむ　（　　）

⑤　覚めざらましを　（　　）

問三　次の傍線部で使われている修辞法を答えなさい。

①　山里は冬ぞ寂しさまさりける人目も草もかれぬと思へば　（　　）

②　ちはやぶる神代も聞かず竜田川から紅に水くくるとは　（　　）

問四　次の傍線部の助動詞の意味と活用形を答えなさい。

①　ひさかたの光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ　（　　・　　形）

②　秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる（　　・　　形）

③　山里は冬ぞ寂しさまさりける人目も草もかれぬと思へば　（　　・　　形）

④　思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを（　　・　　形）

問五　次の傍線部の助詞「ば」の意味と用法を「逆接・仮定条件」のような形で答えなさい。

五月待つ花橘の香をかげば①昔の人の袖の香ぞする　①（　　接・　　）

思ひつつ寝れば②や人の見えつらむ夢と知りせば③覚めざらましを　②（　　接・　　）

③（　　接・　　）

古今和歌集

☆解答例と配点

問一　①はなたちばな　②ごせち〈１点×２〉

問二　①袖を濡らして　②すくった水　③気付いたことだ　④現れたのだろうか
⑤目を覚まさなかっただろうに〈２点×５〉

問三　①掛詞　②見立て〈２点×２〉

問四　①現在原因推量・連体形　②完了・終止形　③完了・終止形
④反実仮想・連体形〈２点×４〉

問五　①順接・偶然条件　②順接・原因理由　③順接・仮定条件〈２点×３〉

〈計30点〉